

# 清流

## 復活へ 大和川の挑戦

「日本一汚い川」からの脱却

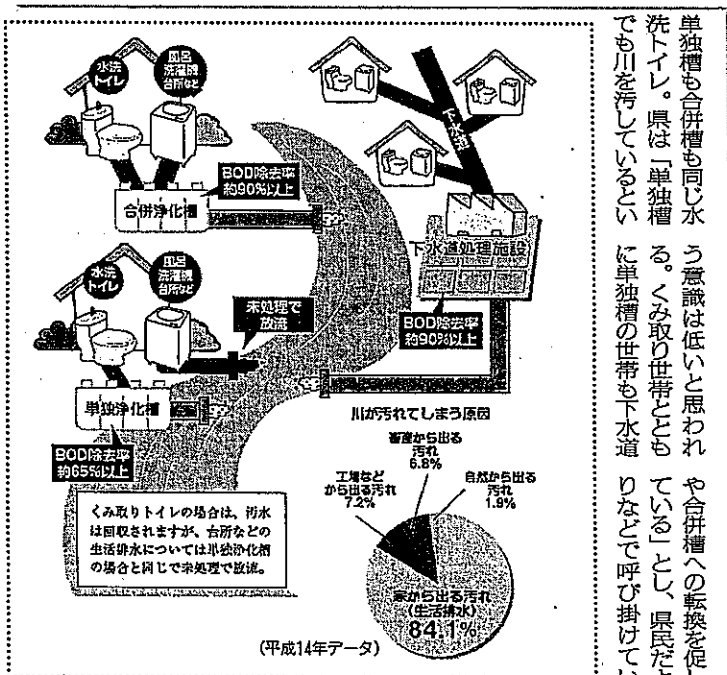
大和川の水質汚濁原因の普及が川の浄化にせむは生活排水をすべて処理の八割以上を占めるのとも必要だ。してきれいに処理す。

止まれるなら、川の浄化のために、下水道が普及していない地域では、各家庭で単独槽から合併槽への移行が不可欠だ。ところが、大和川流域は単独槽が約七万六千基に対して、合併槽は約一万七千基にすぎない。単独槽は合併槽に比べ約八

# 風呂の水もきれいに

が、家庭からの生活排水。単独浄化槽（以下は単独槽と表記）は、トイレのほかに、単独浄化槽、合併浄化槽の二種の浄化槽があり、風呂の水はそのまま放流してしまふ。一方、合併浄化槽は生物化学的除菌（BOD）除去率約90%以上で、単独槽は約65%以上と生活排水の浄化力にも大きな差がある。平成十三年から一般の人からすれば、

## 合併浄化槽のはなし



さらに、浄化槽は清掃（汚泥の引き抜き）、保守点検、法定検査の維持管理をしないと、浄化の機能を十分に果たせない。県は、このための啓発活動も進めている。大和川に清流を取り戻すためには、浄化槽に対する県民意識の向上も求められる。

合併浄化槽設置についての問い合わせは環境政策課、電話0742(27)8737。

〓 毎月一回、下旬に掲載

H21年4月30日(木) 新聞版  
朝・夕奈良